

JIS

フォルダー及びガイド

JIS S 5506 : 2014

(FBA/JSA)

平成 26 年 7 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	會 川 義 寛	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	浅 見 剛 尚	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	阿 部 哲 也	一般財団法人製品安全協会
	石 川 麗 子	一般財団法人日本消費者協会
	井 上 裕 文	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	河 村 真紀子	主婦連合会
	佐々木 定 雄	一般社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 分 正 弘	公益社団法人消費者関連専門家会議
	中 里 憲 司	一般社団法人繊維評価技術協議会
	中野子 礼 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタ ント協会
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	町 田 隆	一般財団法人家電製品協会
	山 口 公 樹	一般社団法人日本オフィス家具協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 41.6.1 改正：平成 26.7.22

官 報 公 示：平成 26.7.22

原 案 作 成 者：日本ファイルバインダー協会

(〒111-8611 東京都台東区柳橋 1-2-10 東京文具共和会館 TEL 03-3861-4981)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 會川 義寛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び形状	4
5 寸法及び品質	5
5.1 個別フォルダー，雑フォルダー，カットフォルダー及びガイドの寸法	5
5.2 フォルダーの山の幅	6
5.3 ハングングフォルダーの寸法及び品質	6
5.4 外観	6
6 材料	7
6.1 フォルダーに使用する材料	7
6.2 ガイドに使用する材料	7
6.3 フォルダー及びガイドに使用する試験方法	7
6.4 ガイド見出しに使用する材料	7
7 ハングングフォルダーのつり下げ強度の試験方法	8
8 検査	8
9 表示	9
附属書 A（規定）紙及び板紙－ワックスによる表面強さ試験方法	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ファイルバイ
ンダー協会（FBA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を
改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格で
ある。

これによって、**JIS S 5506:1994** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 27 年 1 月 21 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マ
ーク表示認証において、**JIS S 5506:1994** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意
を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実
用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

フォルダー及びガイド

Folder and guide

序文

この規格は、1966年に制定され、その後4回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は1994年に行われたが、その後の製品の多様化及び品質の向上に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、ファイリングシステムに使用するファイルのうち、収納家具などに使用するフォルダー及びガイド（以下、フォルダー及びガイドという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS K 6745 プラスチック—硬質ポリ塩化ビニル板
- JIS P 0001 紙・板紙及びパルプ用語
- JIS P 8111 紙、板紙及びパルプ—調湿及び試験のための標準状態
- JIS P 8113 紙及び板紙—引張特性の試験方法—第2部：定速伸張法
- JIS P 8115 紙及び板紙—耐折強さ試験方法—MIT試験機法
- JIS P 8116 紙—引裂強さ試験方法—エルメンドルフ形引裂試験機法
- JIS P 8124 紙及び板紙—坪量の測定方法
- JIS P 8125 紙及び板紙—こわさ試験方法—テーバーこわさ試験機法
- JIS Z 8401 数値の丸め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS P 0001によるほか、次による。

なお、個別フォルダー、雑フォルダーなど、商品名の呼称として用いられる用語は、箇条4及び表1による。

3.1

ファイリングシステム

フォルダー及びガイドを組み合わせることによって文書を組織的に管理する一連の方式。文書の保管が図1のように配列された状態をいう。